

株式会社日の出組

2019 年度 環境経営レポート

(対象期間 2018 年11月1日～2019 年10月31日)



エコアクション21
認証・登録番号0004528

作成日： 2019年11月1日

目 次

項 目
環境経営方針
組織の概要
事業・製品の紹介
環境経営組織図及び役割・責任・権限表
主な環境負荷の実績
環境経営目標及びその実績
環境経営計画の取組結果とその評価
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無
緊急事態対応訓練
代表者による全体の評価と見直し・指示



環境経営方針

<環境経営理念>

我社は、『サステナビリティ（sustainability・持続可能性）』をキーワードとして、建設業を通して自然と環境を大切にすると共に、人にやさしく、心豊かにゆとりある暮らしの実現をめざして、自然と“共生”していくという考えに価値観を根本から変えていき、自然を愛する企業として社会貢献をします。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 現場へ移動は主に、公共交通手段を使用考え、車で移動する際は、エコ運転を心掛け、各車両ごとの燃費を測定を行いCO2排出量の削減を図ります。
- 3 . 事務所内にて使用する電気使用量を抑えるため、節電を心掛けCO2排出量の削減を図ります。
- 4 . 一般廃棄物・産業廃棄物の削減のため、分別収集の徹底及び再資源化を図ります。
- 5 . 水道使用量のデーターを取り、節水に取り組めます。
- 6 . 事務所・現場の周囲の公共道路を定期的に清掃します。
- 7 . 環境に配慮した製品をグリーン購入をします。
- 8 . 建設現場で発生する廃木材等のリサイクルを推進します。



制定日：2018年12月11日

代表取締役 **東村 正剛**

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社日の出組
代表取締役 東村 正剛
- (2) 所在地
本 社 大阪府大東市大野1丁目13番18号



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部長 東村 光博 TEL : 072-872-1212
担当者 工務部 木田 耕嗣 TEL : 072-872-1212

- (4) 事業内容
建築・土木・とび・土工・舗装及び水道施設工事
大阪府知事 般一29 第4155号
平成29年5月11日許可

- (5) 事業の規模

売上高	8.28 億円					合計
	本	社				
従業員	名	9 名				9
延べ床面積	m ²	830 m ²				830

- (6) 事業年度 11月 1日 ~ 10月 31日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社日の出組
- 対象事業所： 本 社
- 対象外： なし
- 活動： 建築・土木・とび・土工・舗装及び水道施設工事

□事業や製品(商品)の紹介

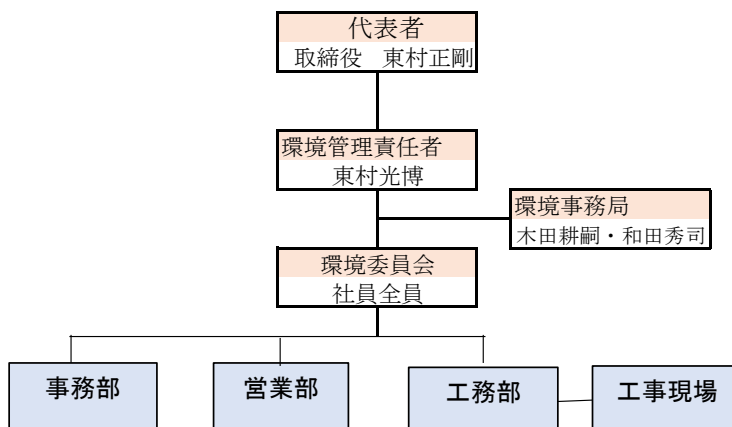


「夢」伝えて、豊かな未来。

施工事例



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境管理推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年	2017年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		31,546	30,693
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン		0.529	0.518
産業廃棄物排出量	トン		176.77	173.23
総排水量	m ³		180	159

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

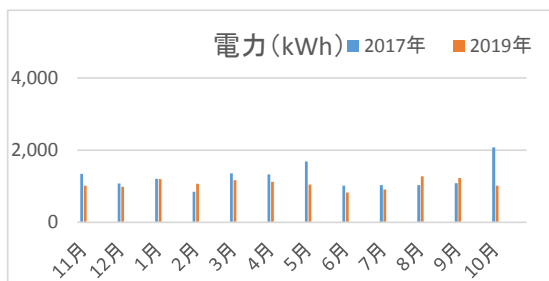
項目	年度	基準値	2019年			評価	2020年	2021年
			上段: 通期 下段: 12月末まで					
			(基準年)	(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,206	6,082	5,373	○	6,019	5,957	
	基準年度比		98%	87%		97%	96%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	24,006	23,526	24,707	×	23,286	23,045	
	基準年度比		98%	103%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	30,211	29,607	30,080		29,305	29,003	
一般廃棄物の削減	kg	529	518	518	○	513	508	
	基準年度比		98%	98%		97%	96%	
産業廃棄物の削減	kg	176,770	173,235	220,875	×	171,467	169,699	
	基準年度比		98%	125%		97%	96%	
水道水の削減	m ³	161	158	145	○	156	155	
	基準年度比		98%	90%		97%	96%	
環境に配慮した工事の推進	行動目標 (次項による)							

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

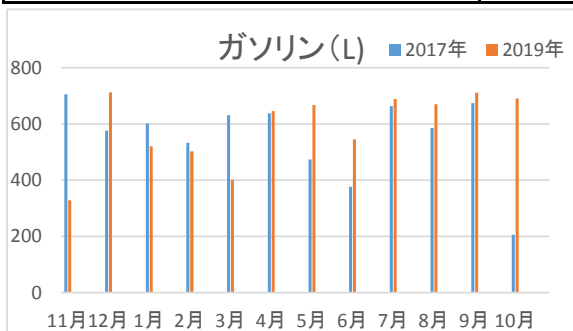
取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標を大幅に上回ることができたので、今後も不要照明の消灯等を継続していきます。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・クールビス運動・ウォームビス運動	○	
・設備の空運転防止	○	
・節電運動	○	



取組紹介欄

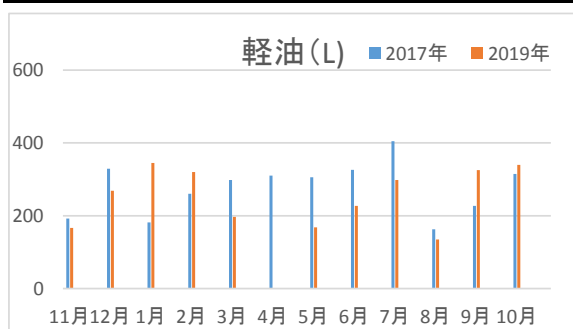
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	1,345	1,075	1,206	845	1,358	1,324	1,686	1,017	1,027	1,027	1,087	2,076
2019年	1,014	982	1,201	1,071	1,169	1,122	1,048	823	907	1,275	1,226	1,016

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	遠方の現場が多かった為、燃料の使用量が多くなった。仕事内容により、大きく変わる為、集計方法の検討が必要です。
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・冷暖房の控えに使用	○	



取組紹介欄

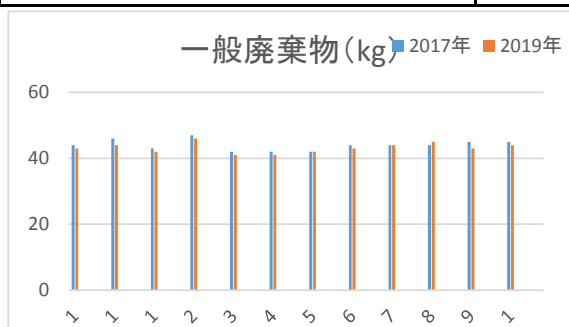
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	705	576	602	533	631	638	473	376	663	586	674	206
2019年	328	712	520	503	401	646	667	545	688	670	711	690



取組紹介欄

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	192	329	182	260	298	310	306	326	405	163	227	315
2019年	166	269	345	320	197	0	168	227	298	135	325	340

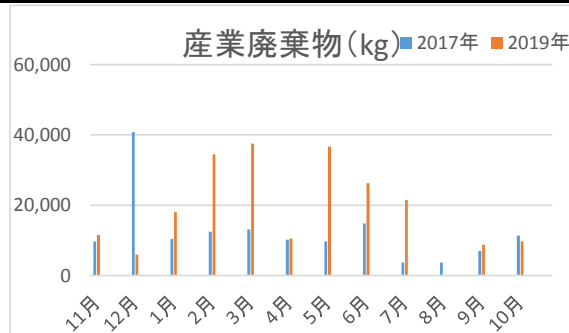
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	削減目標を達成出来ました。 今後も継続して、削減できるよう呼びかけを行います。
・一般廃棄物削減目標説明	○	
・裏紙を使用	○	
・ミスコピーの防止	○	



取組紹介欄

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	44	46	43	47	42	42	42	44	44	44	45	45
2019年	43	44	42	46	41	41	42	43	44	45	43	44

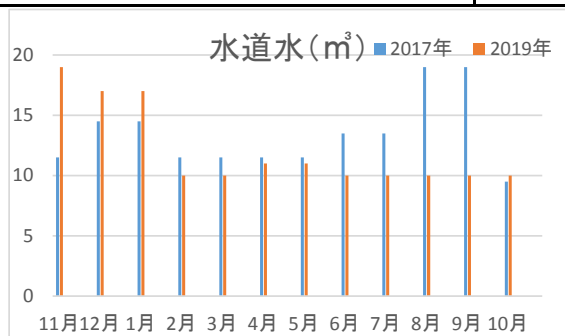
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年は、改修工事が多く、直営での解体を行ったため、廃材が多くなりました。 仕事内容によってゴミの増減はありますが、分別を徹底していきます
・ごみ分別の徹底	○	
・再利用化の検討	○	
・コンテナの目標台数を決めて行う。	○	



取組紹介欄

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	9,620	40,820	10,410	12,500	13,120	10,210	9,700	14,780	3,660	3,660	6,990	11,340
2019年	11,500	6,000	18,000	34,500	37,495	10,500	36,670	26,240	21,470	0	8,750	9,750

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	月により増減はありますが、累計では減少している為引き続き節水の呼びかけを行い、減少を目指します。
・節水の呼びかけ	○	



取組紹介欄

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2017年	12	15	15	12	12	12	12	14	14	19	19	10
2019年	19	17	17	10	10	11	11	10	10	10	10	10

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入	○	
・コピー用紙等を環境に配慮した製品の購入	○	
・空調機器の入替時は、省エネ機器の購入	○	
・ペーパーレス化に対応するモバイル機器の導入	△	

取組紹介欄

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・廃木材のリサイクル (チップボード原料への利用)	○	
・トイレの便器を節水型の推進	○	
・サッシガラスを環境に配慮した製品を推進	○	
・フラット35S環境に配慮した建物を推進	○	

取組紹介欄

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。**

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等、廃蛍光灯
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

【前回の指示への取組結果】	
<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等）	◇環境方針
◇環境経営目標・計画の達成状況	◇環境経営目標・環境経営計画
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等	◇実施体制他

- | | | |
|-----------|-------------------------------|---|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |

□代表者による全体の評価と見直し（2019年）

① 環境活動の取り組み結果の評価

本年度も引き続き作業所の廃棄物のコンテナの数量を削減する数値目標を揚げ、社員で意識共有するために、コンテナを設置している箇所に、現在何台コンテナが排出されているのかを意識する為、目標台数を分母、現在の排出コンテナ数量を分子にし、リアルタイムで排出量を意識する方法を工夫しました。ただ、本年度は資材置き場の縮小や解体工事等の増加もあり、直接弊社で廃棄処理をした為、結果的にゴミの排出量は増えてしまいました。

また、事務所におきましては、継続してタスクアンビエントを実施しています。残業の時間を減らす等工務執務室の稼働時間を減らし、電気量が抑制出来たと思います。

② 実績の評価

本年度、作業所の電力消費量につきましては、基準年度と比べると大幅な減少結果が得られました。年間を通して、新築工事はありましたが、建替等で電気使用量が施主負担となる現場が多く、結果として大幅減少しています。事務所の電力消費量につきましては、皆の意識向上により基準年度より20%程度減少の結果となりました。

また、自動車燃料消費量につきましては、自然災害の影響もあり、例年以上に業務に追われ、全体的にガソリン消費量が増加する結果となりました。燃費軽減の意識強化のため、燃費の記録やエコドライブの意識向上に努めていきます。

産業廃棄物につきましては、その年の現場の状況により比較することが非常に困難です。分別による工夫、数値に対しての意識、現場の見える化を継続することにより、廃棄物量の管理をすることが非常に大事だと思います。

なお、作業所においては、安全衛生協議会での施工協力業者の皆様への教育活動を定期的に実施し、意識を変えていくことが大事だと考えます。

③ 今後の目標

昨年にも書きましたが作業所における取り組みは、年間出来高、工種により基準年度と比較することは困難です。出来高を分母にし、相対評価をすとか、指標を作らないと一概に比較は困難です。ただ、全社員の意識向上や、社員同士の意識共有が大切ですので、継続することに意義があると思っています。

本年度も自然災害の影響などもあり、例年以上に業務に追われ、社員同士のコミュニケーション会議が徹底できていない状況です。今一度、初心に立ち返り、社員同士の風通しを良くし、目標達成の為にどう考え、どう行動していくか、PDCAの思考を社員全員と共有したいと思います。

環境配慮の設計、施工については、積極的に推進し、弊社において長期優良住宅を標準化や太陽光発電やダブル発電など省エネ商品を積極的に提案していきたいと考えていま

す。

最後に、事務所内の冬季のエアコンの件ですが、冬季は空気の乾燥を防ぐ意味で、昔よりある石油ストーブを使用していたり、ガスファンヒーターを使用しています。今後は新たな指標として、灯油と都市ガスを項目に追加しようと思います。